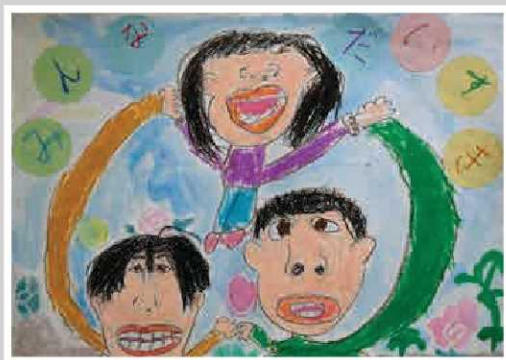


スポーツ・芸術で輝く小・中学生たち

人権啓発ポスターコンクール
京都府町村会長賞 受賞

つばい こうき
坪井 宏樹さん（市場小2年）



京都府町村会長賞を受賞した坪井さんの作品

坪井宏樹さんが、令和6年度人権啓発ポスターコンクール（京都府人権啓発推進会議主催）において、応募総数 3,409 点の中から 12 賞の一つ「京都府町村会長賞」を受賞されました。

絵を描くことが大好きな坪井さん。好きな友だちの顔を思い浮かべながら描いた作品が選出されたときの気持ちを「家族全員が喜んでくれたので、うれしかった」と、笑顔で教えてくれました。



第29回全国少年少女選抜レスリング選手権大会
女子の部（6年生）出場

1/25・26 植村記念加賀スポーツセンター（東京都）

もり な の ん
森 菜音さん（岩滝小6年）

小学4年生から京都海洋レスリング教室（府立海洋高校内）で練習を重ねている森さん。「勝ち負けのある競技にチャレンジしたかった」とレスリングを始めたきっかけを話します。

昨年の大会でベスト8に入り、手にした選抜大会出場。「一つでも多く勝つ」を目標に挑む

も、本大会で優勝を果たした選手と対戦し初戦敗退となりましたが、指導者の織田康博さんは「とにかく負けん気が強く飲み込みが早い。将来が楽しみ」と森さんに期待を寄せます。

今後は「大会で一つでも多く勝てるように、タックルから相手の背後を取る動きに磨きをかけたい」と目標を話してくれました。



JFA 第30回全日本 U-15 フットサル選手権大会
出場 1/11～13 日環アリーナ栃木（栃木県）

た な か し ん
田中 榛さん（江陽中3年）

小学校4年生からサッカーを始め、中学校では福知山ジュニアユースクラブに入り、キーパーとして活躍する田中さん。選手権大会の出場に向け、3年生29人から10人の選抜メンバーに選ばれ、昨年の京都府大会で優勝。続く関西大会では代表決定戦で逆転勝ちを収め、全国出場を手にしました。優勝をめざし挑んだ1

次リーグ。強豪チームに善戦するも1勝2分けで、惜しくも決勝リーグに進むことができず「目標に届かず悔しかった」と大会を振り返ります。

中学校では陸上部に所属し、昨年の近畿大会では円盤投で6位入賞を果たした田中さん。高校では「円盤投に集中し、インターハイ出場をめざします」と力強く目標を話してくれました。



まちの話題をお届けします



● 知事の特別授業

知事から教わる丹後の魅力



生徒たちに京都府の取り組みを説明する西脇知事

12/16 宮津天橋高校加悦谷学舎において、西脇京都府知事が高校生に伝えたいことや期待することなどを語りながら意見交換する「知事の特別授業」が行われました。

本事業は京都府の「地域課題プロジェクト（丹後版）」の一環で行われたもので、加悦谷学舎の2、3年生28人が参加。知事が「丹後のポテンシャル」をテーマに織物や農業、観光、公

共交通について魅力や課題を説明した後、高校生らは「将来は管理栄養士をめざす」「子育て支援の充実」など将来の夢や希望、丹後地域に望むことなどについて、知事と活発に意見交換を行いました。

特別授業に参加した生徒は「貴重な時間を過ごすことができた」「丹後地域の魅力や可能性を知った。丹後に住む私たちが生活の中で、その魅力に気づいていける地域になってほしい」などと感想を話してくれました。



西脇知事に質問をする生徒

● 天橋芸術祭 2024

芸術活動などの成果を発表



加悦谷学舎茶道部による呈茶の様子（2月9日）

2/7 宮津天橋高校の宮津・加悦谷両学舎の芸術活動などの成果を展示・発表する「天橋芸術祭 2024」が、宮津市民体育館において3日間にわたり開催されました。

昨年に続いて開催された芸術祭。会場内では生徒たちが製作したBGMが流れる中、授業の成果のほか、書道部・美術部・写真部の全国や近畿大会への出展作品、京都府総合文化祭で最優秀賞に輝いた大作などが展示され、作品や発表を楽しむ来場者の姿が見られました。

● みょうが祭

今年は「早稲」が豊作



須代神社内の御神田を清める宮司と参拝者

2/11 みょうがの発芽具合で今年の稲作の豊凶を占う「みょうが祭」が、須代神社（明石）で営まれました。

明治30年ごろから続く伝統のお祭り。綾部市の阿須々岐神社からみょうがの根を譲り受け、須代神社内の御神田に植え、占いを行うようになったのが始まりと言われています。御神田は「早稲・中稲・晩稲」に仕切られており、今年は早稲の発芽がよく、参拝者らは御神田に手を合わせ、実りの秋を祈願していました。